

BAX® SYSTEM - SALMONELLA 2 KIT

KIT2011

編集日: 07.04.2022

部品表

物質名	特定名	GHSに基づいた分類	絵表示	ページ
BAX® System Lysis Buffer				2 - 11
BAX® System Protease				12 - 21
BAX® System PCR Tablets				22 - 32

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第1節：化学品及び会社情報**1.1 製品特定名**商品名 **BAX® System Lysis Buffer**

製品コード ASY2011

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途 研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Qualicon Diagnostics LLC

941 Avenida Acaso

Camarillo CA 93012

アメリカ合衆国

電話番号: 1-302-695-5300

FAX番号: 1-302-351-6454

メール: diagnostics.support@hygiena.comホームページ: <https://www.hygiena.com>

電子メールアドレス（資格のある者）

diagnostics.support@hygiena.com**1.4 緊急電話番号**

緊急時情報提供

1-302-695-5300

当該番号は次の営業時間に利用可能: 月 - 金 08:00 - 17:00

第2節：危険有害性の要約**2.1 物質及び混合物の分類**

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第3節：組成及び成分情報**3.1 物質**

非該当（混合物）

3.2 混合物

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Pyrogen Free Water	CAS-番号 7732-18-5	≥ 90		
Tris	CAS-番号 77-86-1	0,1 - < 1		
Tris HCl	CAS-番号 1185-53-1	0,1 - < 1		
Potassium Chloride	CAS-番号 7447-40-7	0,1 - < 1		
Reduced Triton X-100	CAS-番号 92046-34-9	< 0,1		
Magnesium Chloride Hexahydrate	CAS-番号 7791-18-6	< 0,1		

省略の全文：第 1 6 節を参照.

第 4 節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低 10 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第5節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対するアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

第6節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること：おがくず、珪藻土、砂、万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触禁止物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第7節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること、よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い、作業域内での飲食と喫煙の禁止、食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し、飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと、通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと、食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

霜

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

第8節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない。

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Tris HCl	1185-53-1	DNEL	152,8 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Tris HCl	1185-53-1	DNEL	216,6 mg/kg 体重/日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Magnesium Chloride Hexahydrate	7791-18-6	PNEC	3,21 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Magnesium Chloride Hexahydrate	7791-18-6	PNEC	0,32 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
Magnesium Chloride Hexahydrate	7791-18-6	PNEC	90 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Magnesium Chloride Hexahydrate	7791-18-6	PNEC	288,9 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Magnesium Chloride Hexahydrate	7791-18-6	PNEC	28,89 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Magnesium Chloride Hexahydrate	7791-18-6	PNEC	662,8 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうかを確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ることを、予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	測定できない
粒子	非該当 (液体)
臭気	独特

その他、安全性評価基準

pH (値)	測定できない
融点/凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性 (固体、気体)	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2 その他の情報

溶媒容量	99,65 %
固形分	0,346 %

第 10 節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 不適合材料

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第 5 節を参照。

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第 1 1 節：毒性学的情報

11.1 毒性学的影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

第 1 2 節：環境影響情報

12.1 毒性

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

12.4 土壌中の移動度

データなし。

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

12.5 PBT と vPvB の評価の結果

データなし。

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない。

12.7 他の有害影響

データなし。

第 13 節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない。外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること。

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能。汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる。

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること。地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう。

第 14 節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連出荷名	非該当
14.3 輸送時の危険性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない
14.6 使用者のための特別予防措置	追加情報がない。
14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送	荷はバラ積み輸送に適していない。

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外。

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外。

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第 1 5 節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
AU	AICS	すべての成分が表示されていない
CA	DSL	すべての成分が表示されていない
CN	IECSC	すべての成分が表示されていない
EU	ECSI	すべての成分が表示されていない
EU	REACH Reg.	すべての成分が表示されていない
JP	CSCL-ENCS	すべての成分が表示されていない
KR	KECI	すべての成分が表示されていない
MX	INSQ	すべての成分が表示されていない
NZ	NZIoC	すべての成分が表示されていない
PH	PICCS	すべての成分が表示されていない
TR	CICR	すべての成分が表示されていない
TW	TCSI	全成分はリストに記載されている
US	TSCA	すべての成分が表示されていない

凡例

AICS	Australian Inventory of Chemical Substances
CICR	Chemical Inventory and Control Regulation
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリー (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
REACH Reg.	REACHに登録された物質
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

第 1 6 節：その他の情報

略語と頭字語

BAX® System Lysis Buffer

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約（略：海洋汚染防止条約）
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第1節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **BAX® System Protease**

製品コード ASY2012

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう勧告されている用途

関連性がある特定された用途 研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Qualicon Diagnostics LLC
941 Avenida Acaso
Camarillo CA 93012
アメリカ合衆国

電話番号: 1-302-695-5300
FAX番号: 1-302-351-6454
メール: diagnostics.support@hygiena.com
ホームページ: <https://www.hygiena.com>

電子メールアドレス（資格のある者）

diagnostics.support@hygiena.com

1.4 緊急電話番号

緊急時情報提供

1-302-695-5300
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月 - 金 08:00 - 17:00

第2節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第3節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Pyrogen Free Water	CAS-番号 7732-18-5	50 - < 75		
Glycerol	CAS-番号 56-81-5	25 - < 50		
Protease	CAS-番号 9036-06-0	0,1 - < 1		
Tris HCl	CAS-番号 1185-53-1	0,1 - < 1		

省略の全文：第 1 6 節を参照。

第 4 節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者 の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者 の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低 1 0 分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第 5 節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO2)

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

5.3 消防士に対するアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

第6節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること：おがくず、珪藻土、砂、万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触禁止物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

第7節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

霜

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第 8 節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない。

混合物の成分の関連するDNEL						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Glycerol	56-81-5	DNEL	220 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－局所的作用
Tris HCl	1185-53-1	DNEL	152,8 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Tris HCl	1185-53-1	DNEL	216,6 mg/kg 体重/日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Glycerol	56-81-5	PNEC	1.000 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用。EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である。使用前に密封性/不浸透性を確認すること。手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること。特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること。予防用の皮膚保護（バリアクリーム/軟膏）を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	測定できない
粒子	非該当 (液体)
臭気	独特

その他、安全性評価基準

pH (値)	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性 (固体、気体)	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

9.2 その他の情報

溶媒容量	99,34 %
固形分	0,6562 %

第 10 節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 不適合材料

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第 5 節を参照。

第 11 節：毒性学的情報

11.1 毒性学的影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性として分類されない。

第 1 2 節：環境影響情報

12.1 毒性

水生環境有害性として分類されない。

12.2 難分解性及び分解性

データなし。

12.3 生物蓄積性

データなし。

12.4 土壤中の移動度

データなし。

12.5 PBT と vPvB の評価の結果

データなし。

12.6 Endocrine disrupting properties

一つも成分が表示されていない。

12.7 その他の有害影響

データなし。

第 1 3 節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない。外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること。

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能。汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる。

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること。地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう。

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

第 1 4 節：輸送上の注意

- | | | |
|------|---------------------------------------|---------------------|
| 14.1 | 国連番号 | 輸送規則の要件は適用されない |
| 14.2 | 国連出荷名 | 非該当 |
| 14.3 | 輸送時の危険性クラス | 未特定 |
| 14.4 | 容器等級 | 未特定 |
| 14.5 | 環境有害性 | 危険物規則に基づいて環境有害性ではない |
| 14.6 | 使用者のための特別予防措置 | 追加情報がない。 |
| 14.7 | MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送 | 荷はバラ積み輸送に適していない。 |

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外。

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外。

第 1 5 節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
AU	AICS	すべての成分が表示されていない
CA	DSL	すべての成分が表示されていない
CN	IECSC	全成分はリストに記載されている
EU	ECSI	全成分はリストに記載されている
EU	REACH Reg.	すべての成分が表示されていない
JP	CSCL-ENCS	すべての成分が表示されていない
KR	KECI	すべての成分が表示されていない
MX	INSQ	すべての成分が表示されていない
NZ	NZIoC	全成分はリストに記載されている
PH	PICCS	すべての成分が表示されていない
TR	CICR	すべての成分が表示されていない

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

国	インベントリ	状況
TW	TCSI	全成分はリストに記載されている
US	TSCA	すべての成分が表示されていない

凡例

AICS	Australian Inventory of Chemical Substances
CICR	Chemical Inventory and Control Regulation
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリ (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
REACH Reg.	REACHに登録された物質
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

第16節：その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関 (公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関)
DGR	危険物規則書 (IATA/DGR参照)
DNEL	導出無影響レベル
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリ
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約 (略：海洋汚染防止条約)
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

BAX® System Protease

バージョン番号: 1.1

編集日: 21.03.2022

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

第1節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名

BAX® System PCR Tablets

製品コード

BAX® Sample Tablet, RT Campylobacter ASY2045 (D12748287), E.coli O157:H7 MP ASY2046 (D12415443), Cronobacter sakazakii ASY2047 (D12415480), Genus Listeria ASY2048 (D12498137), Listeria mono ASY2049 (D12498110), Salmonella ASY2050 (D12415473), Yeast and Mold ASY2051 (D12522072), Genus Listeria 24E ASY2052 (D14208527), Listeria mono 24E ASY2053 (D13623810), RT L.mono ASY2055 (D15134243), RT Shigella ASY2056 (D14816161), RT E.coli O157:H7 ASY2057 (D14227174), Salmonella 2 ASY2058 (D14368493), RT Vibrio ASY2059 (D13915754), RT Genus Listeria ASY2060 (D15130514), RT Staphylococcus aureus ASY2061 (D12762673), RT STEC panel 1 O26, O111, O121 ASY2062 (D14643070), RT STEC panel 2 O45, O103, O145 ASY2063 (D14643086), RT STEC screening stx eae ASY2064 (D14643068), X5 Ecoli O157:H7 ASY2066 (D15407254), X5 L.mono PACKAGE TABLETS - RT SHIGELLA 48 ASY2067 (D15407244), X5 Genus Listeria ASY2068 (D154072390), X5 Salmonella ASY2069 (D15407227)

1.2 物質や混合物の関連性があり、特定された用途と使用しないよう警告されている用途

関連性がある特定された用途

研究所と分析用途

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Qualicon Diagnostics LLC
941 Avenida Acaso
Camarillo CA 93012
アメリカ合衆国

電話番号: 1-302-695-5300
FAX番号: 1-302-351-6454
メール: diagnostics.support@hygiena.com
ホームページ: <https://www.hygiena.com>

電子メールアドレス (資格のある者)

diagnostics.support@hygiena.com

1.4 緊急電話番号

緊急時情報提供

1-302-695-5300
当該番号は次の営業時間に利用可能: 月一金 08:00 - 17:00

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

第2節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第3節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当 (混合物)

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	Wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Carbohydrate Excipient	CAS-番号 64044-51-5	≥ 90		
Tris	CAS-番号 77-86-1	3 - < 5		
Potassium Chloride	CAS-番号 7447-40-7	0,1 - < 1		
Sodium Chloride	CAS-番号 7647-14-5	0,1 - < 1		
Magnesium Chloride (Anhydrous)	CAS-番号 7786-30-3	0,1 - < 1		
SYBR Green Fluorophor	CAS-番号 163795-75-3	0,1 - < 1		
Glycerol	CAS-番号 56-81-5	< 0,1		
Protein Excipient	CAS-番号 9000-71-9	< 0,1		
DNA various sizes	CAS-番号 99675-55-5	< 0,1		
dNTP multiple nucleotides		< 0,1		
Fluorophor Dye I	CAS-番号 23491-45-4	< 0,1		
AmpliTAQ		< 0,1		
Surfactamps		< 0,1		

省略の全文：第16節を参照.

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

第4節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

犠牲者から目を離さない。犠牲者を危険区域から移動させる。犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医者診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低10分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な急性および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第5節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水, フォーム, ABC-パウダー

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

5.3 消防士に対するアドバイス

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

第6節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと、機械で吸収すること

流出を浄化する方法について適切な助言

機械で吸収すること。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他の節を参考に

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触禁止物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

第7節：取扱い及び保管上の注意**7.1 安全な取扱いのための予防措置**

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。容器を接地しアースを取ること。

- 特殊な注記／明細

ダスト堆積物は作業場のあらゆる表面に定着する可能性がある。製品は配達された状態では粉じん爆発を起こす危険性はないが、細じんが交わると粉じん爆発の可能性が高まる。

一般的な労働衛生の手順

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

次のリスクに直面した場合

- 爆発性

ダスト堆積物を排除すること。

7.3 特定の最終製品

概要は第16節を参照。

第8節：ばく露防止及び保護措置**8.1 管理パラメーター**

この情報は、入手できない。

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Glycerol	56-81-5	DNEL	220 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性一局的作用

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

混合物の成分の関連するPNEC						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Magnesium Chloride (Anhydrous)	7786-30-3	PNEC	3,21 mg/l	水中の微生物	淡水	短期 (単回)
Magnesium Chloride (Anhydrous)	7786-30-3	PNEC	0,32 mg/l	水中の微生物	海水	短期 (単回)
Magnesium Chloride (Anhydrous)	7786-30-3	PNEC	90 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期 (単回)
Magnesium Chloride (Anhydrous)	7786-30-3	PNEC	288,9 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期 (単回)
Magnesium Chloride (Anhydrous)	7786-30-3	PNEC	28,89 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期 (単回)
Magnesium Chloride (Anhydrous)	7786-30-3	PNEC	662,8 mg/kg	地球型生物	土壌	短期 (単回)
Glycerol	56-81-5	PNEC	1.000 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期 (単回)

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気。

個人保護装置 (個人的保護措置)

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用。

皮膚の保護

- 手の保護

保護手袋を着用すること。

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること。予防用の皮膚保護 (バリアクリーム/軟膏) を推奨する。取扱後は手をよく洗うこと。

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

環境ばく露管理

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること。排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性に関する情報

外観

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

物理的性状	個体
色	白
臭気	独特

その他、安全性評価基準

pH (値)	適用されない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	適用されない
蒸発速度	測定できない
可燃性 (固体、気体)	素材は可燃性だが、簡単に発火しない
粉じん雲の爆発限界	測定できない
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
粘度	非該当 (固形物)
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2 その他の情報

溶媒容量	99,8 %
固形分	0,2 %

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

第 1 0 節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に。

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している。

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

火災や爆発を避けるための手引き

製品は配達された状態では粉じん爆発を起こす危険性はないが、細じんが交わると粉じん爆発の可能性が高まる。

10.5 不適合材料

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第 5 節を参照。

第 1 1 節：毒性学的情報

11.1 毒性学の影響の情報

混合物そのものについて試験データが入手できない。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

急性毒性

急性毒性として分類されない。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として分類されない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として分類されない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として分類されない。

発がん性

発がん性として分類されない。

生殖毒性

生殖毒性として分類されない。

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

- 単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない。
- 反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない。
- 吸引性呼吸器有害性
吸引性呼吸器有害性として分類されない。

第 1 2 節：環境影響情報

- 12.1 毒性**
水生環境有害性として分類されない。
- 12.2 難分解性及び分解性**
データなし。
- 12.3 生物蓄積性**
データなし。
- 12.4 土壤中の移動度**
データなし。
- 12.5 PBT と vPvB の評価の結果**
データなし。
- 12.6 Endocrine disrupting properties**
一つも成分が表示されていない。
- 12.7 他の有害影響**
データなし。

第 1 3 節：廃棄上の注意

- 13.1 廃棄物処理方法**
 - 下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない。外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること。
 - 包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能。汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる。
- 備考**
国レベル又は地域レベルの規定を参考すること。地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう。

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

第 1 4 節：輸送上の注意

- | | | |
|------|---------------------------------------|---------------------|
| 14.1 | 国連番号 | 輸送規則の要件は適用されない |
| 14.2 | 国連出荷名 | 非該当 |
| 14.3 | 輸送時の危険性クラス | 未特定 |
| 14.4 | 容器等級 | 未特定 |
| 14.5 | 環境有害性 | 危険物規則に基づいて環境有害性ではない |
| 14.6 | 使用者のための特別予防措置 | |
| | 追加情報がない。 | |
| 14.7 | MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送 | |
| | 荷はバラ積み輸送に適していない。 | |

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない: UN RTDG

国際海上危険物規則(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外。

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外。

第 1 5 節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない。

国家インベントリー

国	インベントリー	状況
AU	AICS	すべての成分が表示されていない
CA	DSL	すべての成分が表示されていない
CN	IECSC	すべての成分が表示されていない
EU	ECSI	すべての成分が表示されていない
EU	REACH Reg.	すべての成分が表示されていない
JP	CSCL-ENCS	すべての成分が表示されていない
KR	KECI	すべての成分が表示されていない
MX	INSQ	すべての成分が表示されていない
NZ	NZIoC	すべての成分が表示されていない
PH	PICCS	すべての成分が表示されていない
TR	CICR	すべての成分が表示されていない

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

国	インベントリ	状況
TW	TCSI	すべての成分が表示されていない
US	TSCA	すべての成分が表示されていない

凡例

AICS	Australian Inventory of Chemical Substances
CICR	Chemical Inventory and Control Regulation
CSCL-ENCS	既存および新規化学物質リスト (CSCL-ENCS)
DSL	Domestic Substances List (DSL)
ECSI	EC化学物質インベントリ (EINECS, ELINCS, NLP)
IECSC	Inventory of Existing Chemical Substances Produced or Imported in China
INSQ	National Inventory of Chemical Substances
KECI	Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC	New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS	Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)
REACH Reg.	REACHに登録された物質
TCSI	Taiwan Chemical Substance Inventory
TSCA	Toxic Substance Control Act

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない。

第16節：その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関 (公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関)
DGR	危険物規則書 (IATA/DGR参照)
DNEL	導出無影響レベル
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリ
ELINCS	欧州新規届出商業用化学物質名簿
GHS	国連によって考案された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約 (略：海洋汚染防止条約)
NLP	もはやポリマーとされない物質リスト
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

BAX® System PCR Tablets

バージョン番号: 1.0

編集日: 21.03.2022

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

免責

現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.